

27年秋開門、改修工事現場を報道陣に公開

地震の揺れに耐えられるよう、赤門の下（地中）におもりを設置し補強材を取り付け

(地中)におもりを設置し補強材を取り付け

赤門と一体化させるとともに炭素繊維で柱を補強。加えて、番所の耐震化、屋根の軽量化などが行われている。また、耐震補修とともに周辺エリアの環境整備も行う計画だ。

同大は2027年4月に創立150周年を

迎える。赤門の改修工事は「150周年記念事業」として実施されており、赤門は東大創立150周年、赤



瓦の下にあった土を撤去して屋根を軽量化
 なる2027年秋の完成・開門を目指している。
 東京大学は昨年10月に赤門修繕のため寄付金を集める「ひらけ！赤門プロジェクト」を
 開始しており、現在も寄付を募っている。

